

# 令和7年度環境活動報告

部局名: 応用生物科学部

<p>教 育</p>	<p>①環境意識を高める教育として、以下のような環境関連の講義・実験実習・演習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年次セミナー(1年生):「岐阜大学の環境の取り組み、ISO14001認証等」について</li> <li>・食農生命科学概論(1年生):持続可能な食料生産</li> <li>・ヒトと自然(1年生):人の社会活動と自然環境との関わり</li> <li>・教養の環境学(1・2年生):「生物の多様性と人間社会」・「生物生産と環境」・「地球史における環境問題」についての多面的な理解</li> <li>・現代環境学(1年生):「生物多様性を支える森林と動物たち」・「世界の食料と人口問題」・「世界の農業事情」において現代社会の深刻な環境問題を多面的に理解</li> <li>・食農生命科学フィールド実習(1年生):持続可能な農林業の基礎とフィールドワーク</li> <li>・植物生態学(2年生):生態系の概念の把握</li> <li>・土壌環境学(2年生):土壌の諸特性と環境因子</li> <li>・水文学(2年生):水環境と物質循環のメカニズム</li> <li>・動物生態学(2年生):生物の多様性と動物個体群育</li> <li>・農業気象学(2年生):気象と生物生産さらに地球環境問題との関係</li> <li>・バイオマス化学(3年生):環境を重視したバイオマス利用に関する最新の技術</li> <li>・環境微生物化学(3年生):環境汚染における微生物による科学的役割</li> <li>・環境微生物工学(3年生):環境汚染に対する微生物学的修復</li> <li>・環境衛生学(3年生):ヒトと動物の健康と疾病に関する問題を環境と生態系の観点から解説</li> <li>・水圏環境生態学(3年生):水田、水路等の環境と生物多様性保全</li> <li>・環境施設学(3年生):農業用水路など農業施設の環境配慮</li> <li>・ビオトープ論(3・4年生):身近な自然保護・環境保全</li> <li>・農業環境修復学(3・4年生):安定した農業生産のための環境修復</li> <li>・野生動物医学(3年生):野生動物を含めた環境保全に関する獣医学的アプローチ</li> </ul> <p>②実験・実習のための安全マニュアルに基づく講習会として、薬品管理支援システムに関する講習会や寒剤・高圧ガス取扱講習会の受講を徹底した。</p> <p>③実験・実習のための安全マニュアルを配信するとともに、安全教育の実施を徹底するため教育訓練記録簿の作成・管理を行い、全研究室において安全教育が実施されたことを確認した。</p>
<p>研 究</p>	<p>①学部教員の中で環境、生態系保全、環境保全などをキーワードにした研究を行っている。</p> <p>例えばresearchmapデータから2024年を出版年として「環境(environment)、保全(conservation)、生態系(ecosystem)」をキーワードとして含む論文・書籍等出版物が21編あったことをはじめ、農業に関連した題材や生態系に関連した研究テーマで競争的資金を獲得するとともに共同研究を実施した。また関連するシンポジウム講演等の学術貢献活動も実施した。</p> <p>②応用生物科学部野生動物管理学研究センターでは、岐阜県野生動物管理推進センターをカウンターパートとし、野生動物広域カメラモニタリング調査等の保護管理や鳥獣害対策に関する基礎研究活動を実施した。</p> <p>③気候変動が農業生産に及ぼす影響について、岐阜県農業技術センターおよび中山間農業研究所との共同研究を推進し、その成果はウェザーニュース(R7.10.30配信)、</p>

<p>社 会 連 携</p>	<p>①位山演習林 公開講座「～新緑を歩こう～」(R7.5.10)、「位山演習林の木でスプーンを作ろう」(R7.7.5・8.2)、「～紅葉の森を歩こう～」(R7.10.25)、「～冬の森を歩こう～」(R8.2.7予定)の開催。天然林を森林散策し、木観察や野生動物の痕跡など、貴重な自然観察とともに、環境への意識を新たにしました。  ②岐阜大学公開講座 中学生のための体験科学講座「あなたも科学者！」(R7.10.18)の開催。ブナ科樹木の観察や動物の臓器観察を題材に、動植物に関わる理科実験を実施した。  ③公開講座「岐阜虫を通してみる環境学」(R7.12.3)開催。  ④岐阜県野生動物管理推進センターシンポジウム「ニホンザル対策の基本と実践」を共催した(R7.8.1)。  ⑤岐阜県をはじめとする地方自治体の環境関連の委員会等に教員が参画し、地域の</p>
<p>そ の 他 運 営</p>	<p>①ISO14001教育訓練再確認シートにより自己啓発に努めるとともに、「ISO14001環境マネジメントシステム」の一層の推進を図った。  ②今年度2回行われたクリーンキャンパスに対し、多数の教職員・学生の参加により、環境に対する意識の向上を図ることができた。  ③省エネ・環境対策として、各研究室(実験室)の電気使用量を毎月の教授会で報告するとともに学部内に省エネルギーポスター等を掲示し、教職員・学生の省エネに対する啓発を行った。  ④学部の安全衛生推進室が作成した「実験・実習のための安全衛生・環境マニュアル」を使用して、全ての研究室を対象に研修を実施した。教育訓練記録簿により受講確認を行った。</p>